



# 佐 潟 通 信

2007 年

35号

## 秋から冬へ



ミズアオイ



水位を下げた干潟環境



コハクチョウ 10月11日初認

朝夕の冷え込みも厳しくなり、秋の訪れを感じられるようになりました。夏には潟一面緑に染めていたハスやヒシの葉も枯れ始めました。8月12日に開花野鳥観察舎「潟見鳥」近くのミズアオイは鈴なりの果実を付け、オニバスも子房を膨らませてきました。冬鳥では9月4日にマガモ、5日にコガモを初認、10月に入ると特にコガモが増えて1000~2000羽ほどになっています。また、10月11日にコハクチョウが初飛来。佐潟はいよいよ渡り鳥の越冬地や中継地としてにぎわっていきます。

## 保全・賢明な利用・学び

### 「潟普請」佐潟クリーンアップ活動

佐潟の自然を守ろうとする赤塚中学校生徒や地元の人達、それを応援する市民や団体の方々の活動として「潟普請」佐潟クリーンアップ活動が9月30日に実施されました。今回第5回目になる今活動はこれまでで最大の総勢340人が参加し、汗を流しました。この取り組みは、取りまとめ役の地元団体、佐潟と歩む赤塚の会などが推進してきましたが、取り組みが進むにつれ、小中学校の子どもたちが活動の中心になりつつあります。ドロまみれ草まみれになりながらも、にぎやかな声が響き、子供たちの歓声と気持ちはカモや白鳥にきっと届いたと思います。佐潟地元学（西区役所）や新潟県地域振興局、新潟市内外の団体からも資材、設営の応援があり、まさしく「みんなでつくりあげた」活動となりました。



## 赤塚まつり

8月26日に赤塚まつり・佐潟万燈籠が佐潟公園で開催されました。湿地センターも協力、延長開館するほか館内展示として「佐潟なるほどコーナー」を開設しました。館内来館者は1,040人をカウントし、まつり会場同様にぎわいの一日でした。夜は潟に燈籠の灯が映えました。また、今年から地元小中学生が願い事を書き込み作成した「子どもとうろう」500個が会場や歩道沿いに並び、情緒と華やかさを感じました。



## 佐潟いきもの鑑定団

8月19日に湿地センターで、佐潟地元学「佐潟いきもの鑑定団」を開催しました。日本自然環境専門学校狩野氏、三浦氏、にいがた野鳥の会の村上氏を講師にお願いし、佐潟で生息する植物や昆虫、野鳥と、そのつながりを学習しました。当日は約25人の参加者があり、いきものつながりについてとてもわかりやすいお話をいただきました。



## 子どもたちのレンコン掘り

10月12日に地元赤塚小学校5年生がレンコン掘りにチャレンジしました。赤塚漁協の高橋さんや飯田さんの指導の下、びしょぬれになりながら採っていました。その後、観察舎でレンコンの天ぷらを試食する子どもたちの顔は満足そうでした。



## 佐潟自然散歩(月例観察会)



10月まで「佐潟自然散歩」を開催しています。11月からは「佐潟探鳥散歩」として開催時間が変わります。佐潟ボランティア解説員の皆さんがやさしく解説、案内いたします。気軽にご参加ください。

開催日：毎月第2第4土曜日

10月13日(土)・27日(土) 9時30～11時00

11月10日(土)・24日(土) 7時30～9時00

12月 8日(土)・22日(土) 7時30～9時00

## 佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にFAXかE-mailをください。

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1

電話 025(264)3050 / fax025(264)3051

E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所区民生活課

〒950-2054 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話 025(264)7261

